

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 じょうなんブティバ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 3日		令和7年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日		令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の並行通園先(保育機関)と顔の見える関係づくりができています。	療育時の様子は、できるだけ丁寧にお伝えするように心がけています。また、保育機関での様子もお聞きし、保育園で対応が難しいことは療育の中でも取り組むことができるようにしています。必要に応じて、保育機関にも訪問、見学を行い助言や情報共有を行っています。	今後も丁寧な対応を心がけ、保育機関と良好な関係を築くことで、利用児が安心して過ごすことができる環境づくりを行っていきます。
2	日頃から利用児の状況を保護者に伝え、利用児の健康や発達の状態について共通理解ができるようにしています。	利用児の様子は、連絡帳等を活用してお知らせしています。見学もできるようにしています。支援が必要な部分、課題とする部分やのびてきたところは、面談等で共通理解出来るようにしています。	利用児の状況、状態をより丁寧にわかりやすく伝えるようにします。利用児のいいところに目を向けられるようなお話や、ご家族と利用児の関係性、対応方法に助言等ができるよう、職員のスキルアップを図っていきます。
3	利用児の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し支援を行っています。	活動プログラムの中で集団と個別の時間を設け、いろいろな活動に参加できるようにしています。集団が難しい利用児は個別でも対応しています。活動の途中で参加できなくなった利用児は、言葉や絵、イラストで気持ちの表出支援を行ったり、活動への見通しを立てて参加を促したりするなど利用児の気持ちを大事にした支援を心がけています。	気持ちの表出が難しい利用児の表出方法を探っていくこと、一人ひとりの利用児にあったコミュニケーション手段をすべての職員が行うことができるように努力してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族との面談等は行っていますが、保護者同士、きょうだい児の交流、研修等は行うことができていません。	並行通園の利用児ということもあり、保護者の就労、保育機関の行事等もあるため、保護者やきょうだい児が集まる時間の確保が難しいと感じています。	より良好な関係が築けるように、こまめにニーズを聞き取りながら、ご家庭の状況等を把握しご家族の生活を支えるためにいろいろな提案はさせていただきます。
2	各種マニュアルは作成しているが保護者に認識されていない。	契約時や機会でお知らせするようにはしていたが周知の方法に不十分さがあると感じています。	契約時等に各種マニュアルを提示して説明する、掲示をする等行っていきます。また、定期的にお知らせする機会も設けていきたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援事業所 じょうなんプティバ		公表日		令和 7年 3月 14日		
				利用児童数		23人		
						回収数 19人		
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2			利用定員に対する設置基準は満たしております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			3	一度見学に行って以来見についてないのでわかりません。子供の活動の様子を含め、見学できる機会があると嬉しいです。	職員はより細やかな支援が出来るよう基準人員より多めに配置しています。有資格の職員を配置したり、スキルを高める為に研修等にも参加しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			4	一度見学に行って以来見についてないのでわかりません。子供の活動の様子を含め、見学できる機会があると嬉しいです。	配慮が必要な利用児に応じて環境設定を行っています。見学は可能ですので、周知していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1		2	一度見学に行って以来見についてないのでわかりません。子供の活動の様子を含め、見学できる機会があると嬉しいです。	常に整理整頓・清掃を心掛けており、利用児に安心して活動できる環境を設けています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1		1	子供の不得意な事に関して、どのように対応されたか教えて頂きありがたいと思っている。子供の事をしっかり理解してくれていると思います。	利用中にアセスメントを行い、利用児の状態を把握し計画に反映するように心がけています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19				月単位で日毎のスケジュールがあり、毎回活動内容を教えてもらっている。	活動内容は専門職の職員が利用児が楽しく活動に参加出来るように計画を立てています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	1	6		保育園や幼稚園、こども園に通園されている利用児が多いため、療育中は特設機会を設けていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1				ご利用に際し必要な事項は契約時に説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					担当者会議、モニタリング、面談時に適宜説明・同意を頂く対応を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	2	5		ご家庭全般を対象としては十分ではないと感じています。個別での相談依頼やモニタリング時に対応させて頂いております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	19				しっかり子供の様子を報告してもらっている。	利用時の様子は、連絡帳等を活用しています。支援が必要なお知らせ、のびてきたところは、面談等で共通理解出来るようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1		1	相談際にアドバイス等を頂き助かります。	定期的に、面談等を行いお話をしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	5	5		事業所の営業日時もあり、保護者同士が集まる機会は設ける事が出来ていません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2		2		利用児、ご家族からの相談等はその都度対応をさせて頂いております。また契約時にも、いつでも相談いただいていたいいことをお知らせしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				※未回答 2	日中連絡が取りづらいご家庭には、連絡帳やSNS等を活用するなど配慮しています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	3	3	※未回答 2	毎月活動予定をお知らせしています。また活動の様子については、面談や見学等の機会にお知らせはしていますが、今後はより広く発信できるように努力してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			※未回答 2	書類を作成し、各ご家庭へ確認させて頂いています。また事業所としても情報の取り扱いに対し慎重に対応しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	3	※未回答 2	各種マニュアルを作成しており、定期的に訓練も実施しております。安心安全にご利用していただけるように努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	4	※未回答 2	毎月1回、地震・火事・水害などを想定した避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15		2	※未回答 2	安全に活動ができるよう、活動場所、備品、周囲の環境には十分配慮を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		2	※未回答 2	事故や怪我等が発生した際は、保護者に速やかに連絡をとり状況や状態をお伝えしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17			※未回答 2	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	2	※未回答 2	楽しみをもって通所出来るように月齢や利用児の性格にあわせた進行や活動となるよう努めております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17			毎回とても助かっています。通うのがもう少して終了することが寂しいです。 ※未回答 2	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 じょうなんブティバ		公表日		令和 7年 3月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		設置基準は満たしております。個室やパーティション、ロールカーテンなどで仕切りを設け、様々な活動場面に応じて工夫をしています。	利用児の状況に応じて、都度見直しを行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用児に対する人員配置基準に加え、より細やかな支援が提供できるように加配人員も配置しています。	基準人員よりも多く配置はしておりますが、常に丁寧な対応ができるようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		一人ひとりの特性に応じ、活動内容によって場所を明確に分け、切り替えがスムーズにできるようにしています。情報の伝達も利用児の理解につながるように絵や写真等も使用しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		通常の清掃もですが、コロナ禍以降、利用児が使用した物品は毎回消毒を徹底しています。また、心身の状態に応じて休んでいただけるようなスペースも用意しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室やパーティション、ロールカーテンなどで仕切りを設け、利用児の状態に応じ使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員の意見を聞きながら、皆で改善していくように心がけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表だけではなく、日頃からコミュニケーションを大切にし、ご相談や要望があった際は改善を行っています。	ご要望に対しては、今後速やかに対応ができるよう努力してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日頃から職員間でのコミュニケーションをとり、意見等を言いやすい環境づくりを心がけています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は受けておりません。時期は未定ですが、今後受ける予定で法人内で準備を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常にスキルアップできるような研修を選び、可能な限り参加をしています。研修後は職員間で情報を共有し支援に繋がっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域を含め、利用児の成長、発達を総合的に支えることができるように作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用時は行動観察を行いアセスメントをしています。保護者とは面談を行い、ニーズの聞き取りをした上で計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		利用児の状況を複数の職員で確認しあうことで共通理解を図っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		一人ひとりの計画は個別課題のファイルにも添付しており、職員がいつでも確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメント、事業所内での行動観察により利用児の状況把握に努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画にはできるだけすべての項目に対して支援が提供できるよう配慮して計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		利用児の成長発達に沿った内容を複数の職員で話し合い立案しています。目的、ねらいを明確にし同じ視点で支援ができるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用児の様子にあわせて毎月計画を立てています。様々な側面から発達を促すことができるよう、活動は固定化しないようにしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		活動プログラムの中で集団と個別の時間を設けています。ただし、集団が難しい利用児は個別にプログラムをたて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日もしくは当日、支援開始前に打合せを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育終了後にケース会議を行い、利用児さんの様子や反応を全体で共有しています。それぞれの職員の意見も踏まえて、対応の変更や改善を細かく行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育時の様子は必ず記録をしています。経過を見ながら支援の検証を行い、支援方法の見直しを行っています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		利用児の状態の変化がある際には見直しを行い、支援方法を変更しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。必要に応じて、日頃療育支援に携わっている職員も参加します。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時は、保健ごども課や保健師さんと連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		未就園の利用児さんが就園される際、必要に応じ保育機関に対応の仕方などお伝えしています。また通園されてからも、保育機関と連携を図り情報の共有に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		年長の利用児さんが卒園される際、ご希望があれば療育時の様子、必要な支援などをまとめた書類をお渡ししています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターが主催する研修等に参加し、いろいろな側面から事業所内の振り返り、改善につなげていけるようにしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		ご利用中の方全員が保育園や幼稚園に通園されています。事業所の活動としては外部と交流する機会は設けておりません。	公園や図書館などの公共施設へ出かけたり、散歩したりと地域の中でも活動を行うようにしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		母子分離の療育であるため、療育時の様子は連絡帳でその都度保護者の方へお知らせしています。また必要時は電話や面談等で直接お話をしております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		子どもさんだけをお預かりする単独通園ではありますが、療育の様子を見学にきていただき、環境設定や対応方法のアドバイスをしています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご利用前の見学や、契約時に説明を行っています。ご不明な点はないかもお尋ねし、安心してご利用いただけるようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画にはできるだけすべての項目に対して支援が行えるように配慮を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		担当者会議やモニタリング、面談等に説明を行い、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に保護者との面談を設け、悩みや困りごとをお聞きし、一緒に対応を考えたり、アドバイスを行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		事業所の営業日時の関係、保育機関との並行通園の利用児が多いこともあり、保護者同士が集まる機会を設ける事が出来ていません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		利用児、保護者からの相談についてはその都度対応をさせていただいております。また、契約時にもお知らせしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		活動の予定、内容については予定表を配布したり、実施した内容を連絡帳等でお知らせするようにしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		個人情報については、規程に基づき管理させていただいています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		情報伝達に行き違いが生じないように、ひとりひとりに応じた方法で配慮を行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所単独では行っていませんが、地域住民にも知って頂けるように法人として取り組みを行っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		各種マニュアルを作成しており、定期的に訓練も実施しております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		月1回火災、地震、水害、防犯などを想定し実施しています。紙芝居や絵本、手作りの教材を使用して利用児に分かりやすいように説明し訓練しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○		風邪症状以外での定期的な服薬については確認をしています。また、てんかん発作等がある場合は発作時の様子、対応の仕方などお尋ねし、受け入れができるようにしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供は行っていませんので指示書まではいただいておりませんが、食物アレルギーの有無は利用開始時に保護者に確認を行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画を作成し、毎月のチェック、安全管理に必要な研修や訓練等を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		利用児が安全に過ごすことができるように環境には十分配慮しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		ヒヤリハットの事案は報告書を作成し、職員間で共有、再発防止対策を話し合っております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		法人内で虐待防止委員会を設置しています。ポスターの掲示、研修への参加、日々の支援の小さな出来事への気づきを大事にし、職員間で確認しあえる関係性、環境作りに取り組んでいます。
53	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。		○		法人内で虐待防止委員会を設置しています。委員会の議事録等は回覧版を使い周知を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		どのような場合に身体拘束を行う可能性があるかを説明するようにしています。	